

- 本書では、設置手順説明、ネットワークカメラの取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

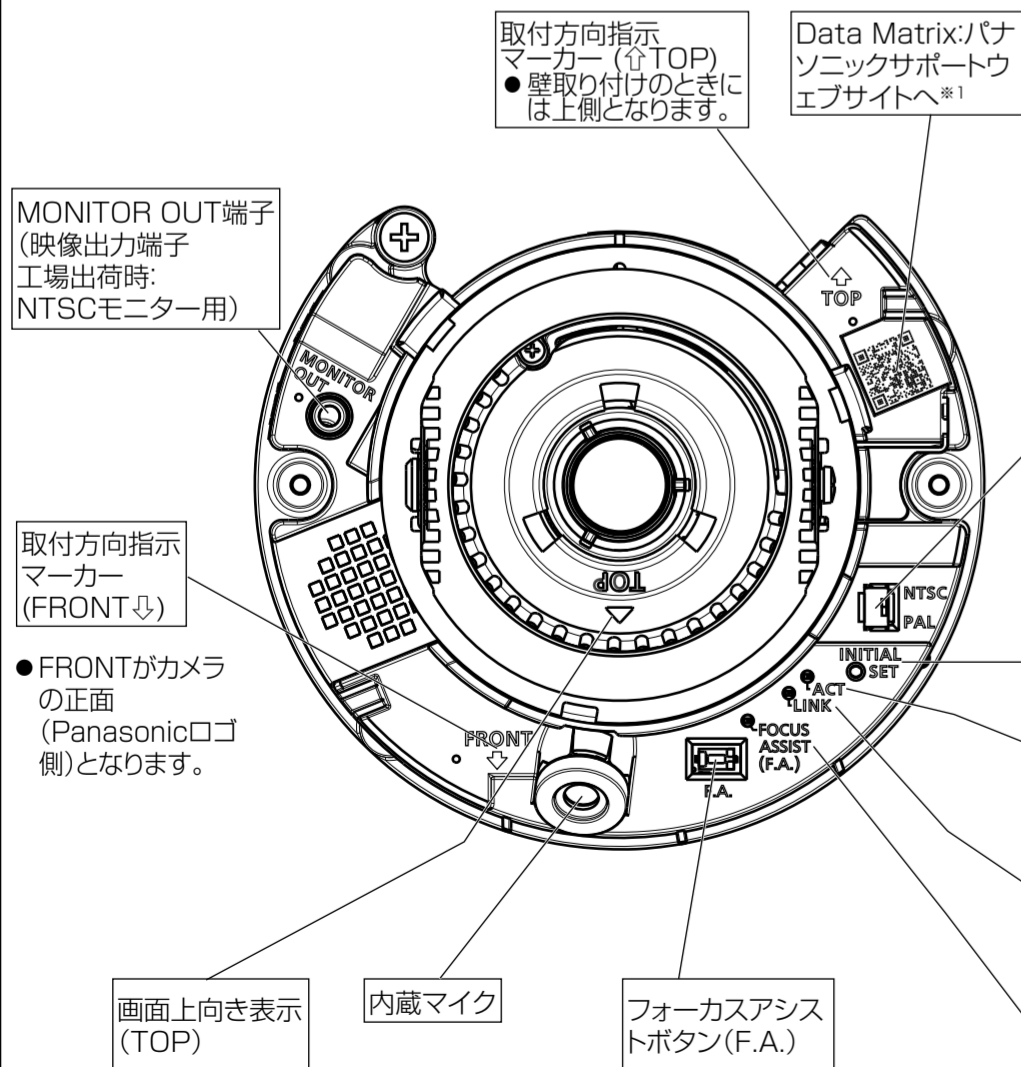
パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2014
PGQX1750XA sC0914-2025 Printed in China

各部の名前

本機の各部の名前は以下のようになっています。設置、調整時に参照してください。



*1 読取アプリケーションによってはうまく読み取れない場合もあります。そのときはURLを直接入力してください。
http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr_sp_select.html

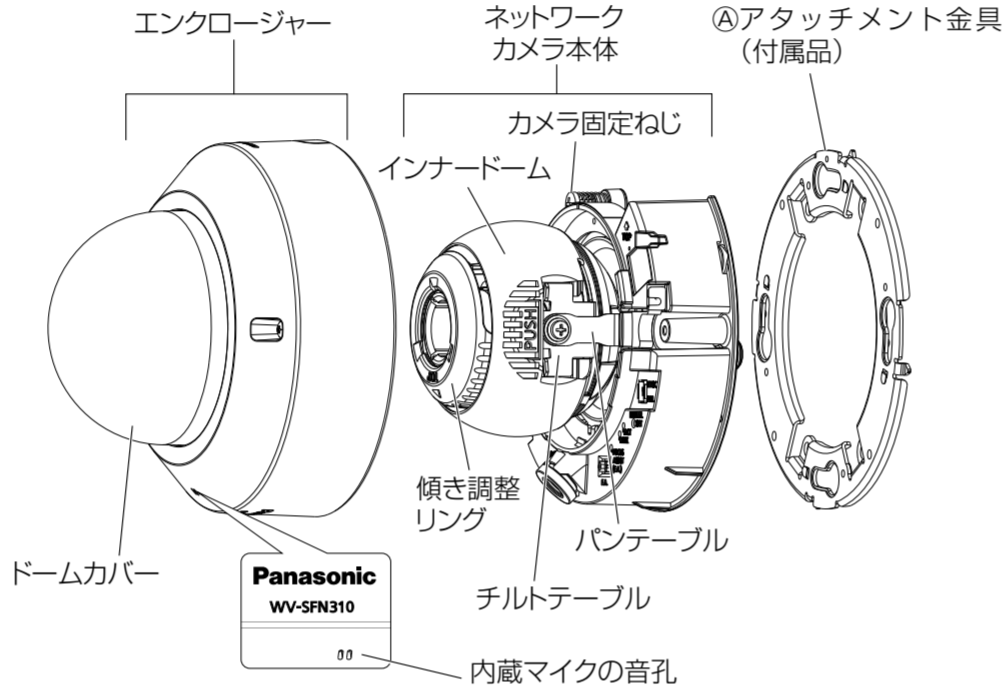
付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編.....1冊 取扱説明書 設置編 (本書).....1式
保証書.....1式 CD-ROM *1.....1枚
コードラベル *2.....1枚

*1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
*2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

- Ⓐ アタッチメント金具.....1個
- Ⓑ ビット.....1個
- Ⓒ 型紙A (アタッチメント金具用)....1枚
- Ⓓ MONITOR OUT変換プラグ.....1本
- Ⓔ 結束バンド.....2本 (うち1本は予備)
- (対辺6.35 mm 六角タイプ)



- 重要**
- WV-Q174B (カメラ天井埋込金具)を使用する場合、内蔵マイクの音孔が金具のカバーに隠れて集音できる音量が低下したり、天井裏の音を拾いやすくなります。設置環境をご確認のうえ、ご使用ください。

NTSC/PALスイッチ

- MONITOR OUT端子の出力を、NTSCモニター用/PALモニター用に切り換えることができます。

重要

- [モニター出力]の設定が「切換スイッチ優先」のときに有効です (初期設定は「切換スイッチ優先」)。
- 詳しくは付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

INITIAL SETボタン

- 初期化するには本機を初期化する場合、以下の手順で実施してください。
- ①本機の電源を切ります。PoEハブを使ってご使用の場合は、Ethernetケーブルを本機より引き抜いてください。
- ②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを5秒以上押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵 (SSL暗号化キー) は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

ACTランプ

- ネットワークカメラがデータ送受信時 緑点滅 (アクセス中)

LINKランプ

- 接続機器と通信可能になったとき 橙点灯

FOCUS ASSIST (F.A.)ランプ

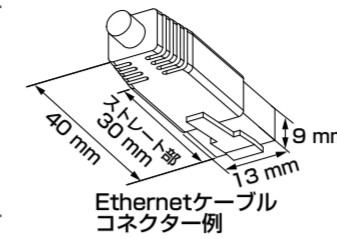
- フォーカスアシスト機能を起動したとき 赤点灯 (1回/1秒程度)
- フォーカスリングを回してベストのピント位置付近にまで調整したとき 赤点灯

接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム (機器) の電源は切ってください。

メモ

- コネクター収納部が狭いため、Ethernetケーブルは右図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。



Ethernetケーブル (カテゴリ5以上) を接続する

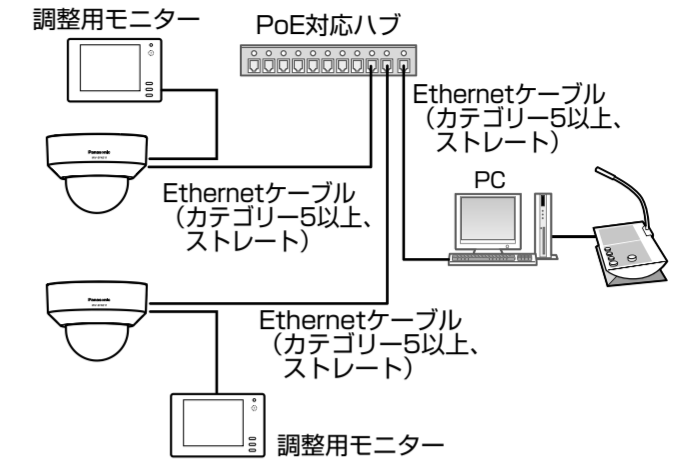
ネットワーク端子とEthernetケーブルを接続します。

重要

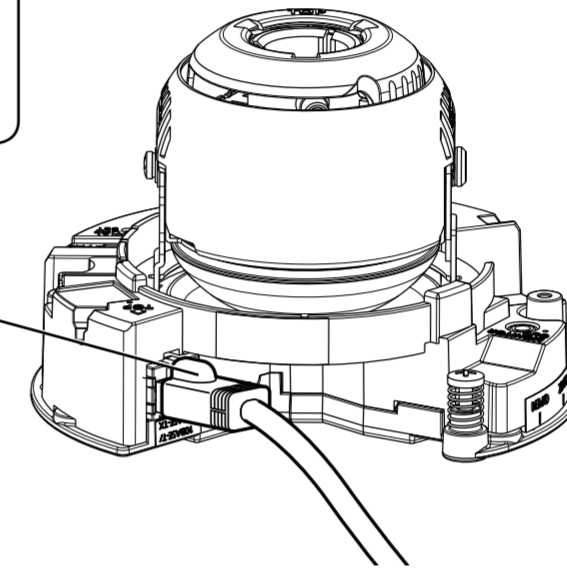
- Ethernetケーブルは4対 (8ピンすべて) を使用してください。
- ＜推奨＞ パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533シリーズ (2013年11月現在)
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。

* 必要に応じて、結束バンド (付属品) で各種ケーブルをまとめてください。

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例
設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。
下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



＜必要なケーブル＞
Ethernetケーブル (カテゴリ5、ストレート)
PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル (カテゴリ5、クロス) をご使用ください。

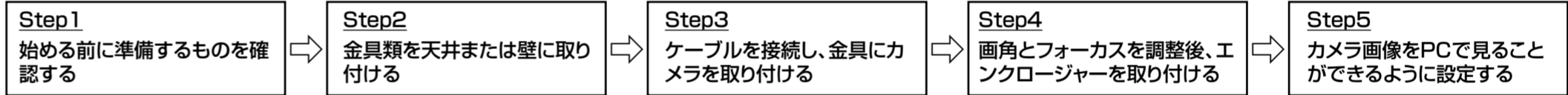


重要

- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字 (カメラIDなど) が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T / 100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。

設置する

設置工事を5ステップで説明します。



Step1 設置工事を始める前に

本機を天井や壁面に取り付けるには次の4通りがあり、それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。カメラ設置時の取付条件は次のとおりです。

取付方法	推奨ねじまたはアンカーボルト	最低引抜強度 (1本あたり)
[1] 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける	M4x4本	196 N (20 kgf)
[2] アタッチメント金具を使って天井または壁面に取り付ける (天井裏、壁裏面で配線できる場合)	M4x4本	196 N (20 kgf)
[3] WV-Q174B (カメラ天井埋込金具: 約280 g) を使ってカメラ本体を天井に埋め込んで設置する*1	不要	天井の強度が十分にあること
[4] WV-Q105 (カメラ天井直付金具: 約150 g) を使って強度が不十分な天井に取り付ける*1	アンカーボルトx2本	*2

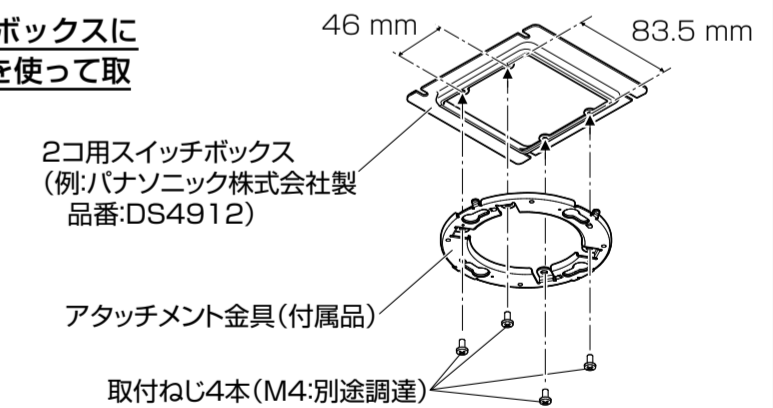
*1 WV-Q174BもしくはWV-Q105 を使って設置する手順は、それぞれに付属されている取扱説明書を参照してください。
*2 カメラ本体を含めた総質量の5倍以上の取付強度を確保してください。

重要

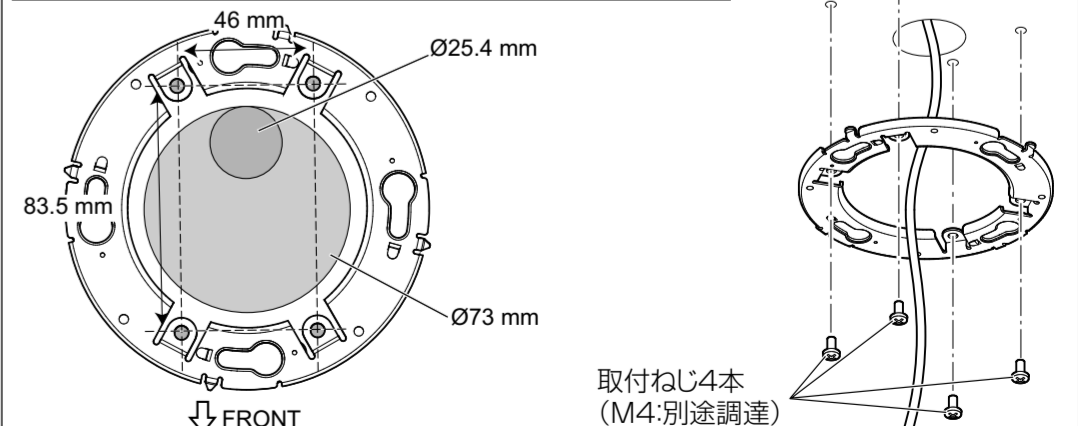
- アタッチメント金具を壁、天井に取り付ける取付ねじ4本 (M4、JIS規格品) を別途ご用意ください。
- 上記 [1] [2] の取り付けに使用するねじもしくはアンカーボルトの最低引抜強度は1本あたり196 N (20 kgf) を確保してください。
- コンクリート天井の場合は、パナソニック株式会社製のAYプラグボルト (M4) で固定してください。 (推奨締付トルク 1.6 N・m {16 kgf・cm})
- ねじの種類は天井の材質に合わせてご選択ください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石膏ボードなど、強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

Step2 金具を固定する

[1] 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける



[2] アタッチメント金具を直接天井や壁に取り付ける



- 設置時にカメラの取付方向が決まっている場合
工事前に②型紙AのFRONT方向 (カメラ取り付け時には本体の取付方向指示マーカーFRONT⇄の方向) を取り付けたい向きに合わせ、φ25.4 mmの穴をあけます。
- 設置時にカメラの取付方向が決まっていない、設置後にカメラの向きを変更する場合
カメラの向きを変更する場合は中心にφ73 mmの穴をあけます。90°単位でカメラ取り付けの方向を変更できます。

